

2016年度事業報告

社会技術革新学会

	2016年度 事業報告
	概況
	<p>他学会とも連携して活動するなど幅広く課題を取り上げて会員が研鑽するとともに、発表や議論の場を会員外にも提供しながら活動した。</p> <p>定期的な活動である学術総会、春季討論集会を開催した。2016年度は学会誌の発行は行わなかった。会員が議論を深めることを目指して学会ホームページ上に会員の自由投稿欄「議論の輪」を設け、運用した。以上の如く実践的で具体的な活動を展開した。</p> <p>「その他事業（収益事業）」については実績がなかった。</p>
	I. 事業に関すること
	(1)技術・人間・制度・社会の視点から調査・分析・研究する事業
学 術 総 会	<p>第10回学術総会を知の市場の協賛を受け、化学生物総合管理学会と共催で開催した。</p> <p>2016年9月14日（水）12：30～18：30</p> <p>会場：お茶の水女子大学 共通講義棟3号館105室</p> <p>参加者：45名</p> <p>内容：(1)特別講演 2件</p> <p style="padding-left: 20px;">須藤繁氏（帝京平成大学）</p> <p style="padding-left: 40px;">「世代交代期に入った石油大国サウジアラビアが目指す国造り」</p> <p style="padding-left: 20px;">市川芳明氏（東京都市大学/日立製作所）</p> <p style="padding-left: 40px;">「TSCAの改正とREACH規制の運用に見る日本産業へのインパクトと対応策」</p> <p>(2)一般発表 2件</p> <p style="padding-left: 20px;">星川欣孝氏（ケミカルリスク研究所）</p> <p style="padding-left: 40px;">「TSCA修正の概要とその意味」</p> <p style="padding-left: 20px;">栗谷しのぶ氏（弁護士）</p> <p style="padding-left: 40px;">「EUにおける内分泌かく乱化学物質規制の相克～リスク管理の行方と日本への示唆～」</p> <p>(3)活動報告 1件</p> <p style="padding-left: 20px;">横山哲夫氏（事故事例研究会 幹事）</p> <p style="padding-left: 40px;">「第IV期 事故事例研究会 報告」</p>

討論集会	<p>春季討論集会(2017)を知の市場の協賛を受け、化学生物総合管理学会と共催で開催した。 2017年2月16日(木)12:00~17:50 会場:お茶の水女子大学 共通講義棟1号館101室 参加者:31名 内容: テーマ「胎動するイノベーションは産業と社会をどこに導くのか」 (1) 一般発表 1件 ・栗谷しのぶ氏 (弁護士) 「欧州の化学物質管理政策における科学的知見の位置づけ」 (2) テーマ発表 4件 ・市川芳明氏 (東京都市大学/日立製作所) 「次なるIT革命がもたらす新たな産業革命—新たなビジネスモデルによる企業関係の変貌を論じる—」 ・寺田勝英氏 (高崎健康福祉大学) 「医薬品の分野から製薬におけるイノベーション」 ・山田昌治氏 (工学院大学) 「食品の分野におけるイノベーション」 ・庵雅美氏 (ネオテクノロジー) 「特許情報から次世代の社会と技術の変革を考える」</p>
学会誌	2016年度は学会誌の発行はなかった。
セミナー・講習	学会主催のセミナーはなかった。
その他	自由投稿欄「論議の輪」の活用 2016年度は投稿件数が1件であった。
(2)技術・人間・制度・社会の視点から集大成・体系化する事業	
集大成・体系化	今年度の実績はなかった。
(3)教育・普及・啓発に関する事業	
教育・啓蒙	(1)ニュースレターの発信やホームページへの掲載で知の市場の広報に協力した。 (2)以下の科目について研究会が知の市場の連携機関となり開講した。 <u>リチウム電池教育研究会</u> 「BA515 社会技術革新学事例研究1」(前期)

奨励賞制度の運用	奨励賞候補者の選考を 2016 年 5 月 19 日の第 33 回理事会で行ったが、2016 年度は受賞者がいなかった ので、2016 年 6 月 3 日の第 11 回通常総会でその旨を報告した。
(4)講演会及び研究会の開催に関する事業	
講演会	今年度中の実施はなかった。
研究会	<p>2 つの研究会が活動を行った。</p> <p>(1) 事件事例研究会 (IV) (2015 年 6 月～2017 年 3 月) 当初の終了予定は 2017 年 5 月であったが、学会の事業年度と合わせ 2017 年 3 月をもって活動を終了する。新たな研究会にて活動を継続する。</p> <p>(2) リチウム電池教育研究会 (2013 年 10 月～2017 年 3 月) 2016 年度で活動を終了した。 当初の終了予定は 2018 年 3 月であったが、研究会の活動を知之市場の開講機関である東洋システムが引き継いだため、2017 年 3 月をもって活動を終了する。</p>
(5)広報活動	
ホームページ	学会の PR ツールとして、ホームページを開設しており、適宜更新作業を行った。
会員向け ニュースレター	会員宛ての連絡ツールとして、No.123～No.128まで合計6回を発行した。

II. 管理運営に関すること

通常総会	<p>第11回通常総会 2016年6月3日(金) 19:00~20:30 会場：お茶の水女子大学 ライフワールド・ウオッチセンター</p> <p>議案： 1号議案 2015年度事業報告および決算の承認の件 2号議案 2016年度事業計画および予算の承認の件</p> <p>報告事項： (1) 社会技術革新学会奨励賞の選考の件 (2) 研究会の活動報告の件 (3) 学会誌発行の件 (4) 会員の異動の件</p>
理事会	<p>第33回から第35回まで3回開催した。</p> <p>第33回 2016年5月19日(木)19:00~20:30 会場：お茶の水女子大学</p> <p>議案： 1号議案 2015年度活動報告及び決算の承認の件 2号議案 通常総会の開催と議案の決定の件</p> <p>報告及び協議事項： (1) 研究会の活動報告の件 (2) 奨励賞受賞者の選考の件 (企画運営委員会を兼ねて開催) (3) 学会誌発行に関する件 (4) 学術総会・春季討論集会の実施体制の強化に関する件 (5) 事務局の体制の件 (6) 会員の異動の件</p> <p>第34回 2016年9月14日(水)11:30~12:30 会場：お茶の水女子大学</p> <p>議案：なし</p> <p>報告および協議事項： (1) 中間期活動報告及び中間決算報告 (2) 事務局員への給与支給 (3) 学会誌発行の状況 (4) 第10回学術総会の報告 (5) 春季討論集会の開催計画 (6) 後期および来年度事業計画・事務局の在り方に関する自由討論</p> <p>第35回 2017年3月15日(水)18:00~19:30 会場：お茶の水女子大学</p> <p>議案：1号議案 2017年度活動計画(案)及び 予算(案)の承認の件</p> <p>報告及び協議事項： (1) 役員改選の件 (2) 2016年度活動報告及び決算見通し報告の件 (3) 春季討論集会(2017.2.16)実施報告の件 (4) 学会誌発行に関する進捗状況報告の件 (5) 研究会の活動報告の件</p>

監査	2016年4月18日に2015年度の業務執行状況および会計処理状況について監査を実施した。適正であるとの監査結果であった。																										
企画運営 委員会	理事会と同時開催の形で開催した。 2016年 5月19日 (木) 2016年 9月14日 (水) 2017年 3月15日 (水)																										
集 学 会 誌 編	Eメール臨時編集委員会を活用しながら適宜開催し、学会誌『技術革新と社会変革』の編集方針や内容の検討を行った。																										
情 報 基 盤 の 強 化	ホームページ上に事務局および理事・監事用のページを作成し、総会や理事会の資料を格納した。																										
会 員 動 向	<table border="1" data-bbox="161 853 791 1099"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>2016年</th> <th rowspan="2">変更</th> <th rowspan="2">入会</th> <th rowspan="2">退会</th> <th>2017年</th> </tr> <tr> <th>4月1日</th> <th>3月31日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>正会員</td> <td>32</td> <td>1</td> <td></td> <td>5</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>学生会員</td> <td>5</td> <td>-1</td> <td></td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>賛助会員</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1)会員区分の変更： (敬称略) 学生会員から正会員へ変更：高玲(2016.8)</p> <p>(2)退会者： 正会員：北林哲(2016.6)、結城命夫(2017.2) 加藤敬、荻原信、今給黎(2016.3) 学生会員：吉原有里、金宝藍(2017.3)</p> <p>2016年度会費について正会員未納者3名について支払いを督促している。</p>		2016年	変更	入会	退会	2017年	4月1日	3月31日	正会員	32	1		5	28	学生会員	5	-1		2	2	賛助会員	1				1
	2016年		変更				入会	退会	2017年																		
	4月1日	3月31日																									
正会員	32	1		5	28																						
学生会員	5	-1		2	2																						
賛助会員	1				1																						
会 計	<p>決算の見通しは別紙の通りである。</p> <p>経常収益 502,529 円(予算比 70%) 経常費用 617,337 円(予算比 51%) 当期正味財産増減額 -114,808 円 次期繰越正味財産額 2,833,281 円</p>																										